

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月17日	(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Nエリア			2019/1/9	2019/1/9	2019/1/9			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/1/8	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-138			
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	汚染土砂	B	04	D	A	361 m ³	0.004 mSv/h	0.04 mSv/h	β 有 0.065 mSv/h
	2	汚染ガラ	B	02	D	A	238 m ³	0.004 mSv/h	0.04 mSv/h	β 有 0.065 mSv/h
	3	汚染木	A	03	D	A	2 m ³	0.004 mSv/h	0.04 mSv/h	β 有 0.065 mSv/h
	4	汚染プラスチック	A	02	D	A	19 m ³	0.004 mSv/h	0.04 mSv/h	β 有 0.065 mSv/h
	5	汚染鉄	B	01	D	A	12 m ³	0.004 mSv/h	0.04 mSv/h	β 有 0.065 mSv/h
	①No.(A81,A82,B48,B53,B55,B57,B58,B59,B61,B63,B65,B69,B71,B74)									
	②Nエリア鋼製角形容器 ③固体廃棄物管理G()調整済									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0129
				2019/1/9
調整後保管日時		2019年1月17日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-41	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	Nエリア鋼製角形容器(A81)	5 μ Sv/h	35 μ Sv/h	37 μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46 m ³		A81	1
	1	2	Nエリア鋼製角形容器(A82)	5 μ Sv/h	21 μ Sv/h	22 μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46 m ³		A82	1
	1	3	Nエリア鋼製角形容器(B48)	5 μ Sv/h	55 μ Sv/h	58 μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46 m ³		B48	1
	1	4	Nエリア鋼製角形容器(B53)	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	17 μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46 m ³		B53	1
	1	5	Nエリア鋼製角形容器(B55)	5 μ Sv/h	37 μ Sv/h	38 μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46 m ³		B55	1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ	上記の保管物はNエリア鋼製角形容器14基に分けて収納。											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③								
	6	汚染パイプ	C	02	D	A	7 m ²	0.004	mSv/h	0.04	mSv/h	β 有	0.065 mSv/h
	7	汚染雑	A	04	D	A	5 m ²	0.004	mSv/h	0.04	mSv/h	β 有	0.065 mSv/h
	8					m ²							
	9					m ²							
	10					m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	01	—	0129

保 管 実 績 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	Nエリア鋼製角形容器(B57)	5	μ Sv/h	27	μ Sv/h	28	μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46	m ²	B57	1
	1	7	Nエリア鋼製角形容器(B58)	5	μ Sv/h	21	μ Sv/h	23	μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46	m ²	B58	1
	1	8	Nエリア鋼製角形容器(B59)	5	μ Sv/h	8	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46	m ²	B59	1
	1	9	Nエリア鋼製角形容器(B61)	5	μ Sv/h	90	μ Sv/h	90	μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46	m ²	B61	1
	1	10	Nエリア鋼製角形容器(B63)	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h	8	μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46	m ²	B63	1
	1	11	Nエリア鋼製角形容器(B65)	5	μ Sv/h	80	μ Sv/h	83	μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46	m ²	B65	1
	1	12	Nエリア鋼製角形容器(B69)	5	μ Sv/h	25	μ Sv/h	28	μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46	m ²	B69	1
	1	13	Nエリア鋼製角形容器(B71)	5	μ Sv/h	26	μ Sv/h	28	μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46	m ²	B71	1
	1	14	Nエリア鋼製角形容器(B74)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	9	μ Sv/h	エリアN	2019/1/17 9:30	46	m ²	B74	1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
	C 難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0022

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	11:30		承認	審査	作成				
	作業件名	1F-2号機 滞留水サンプリングラック電源ケーブル修理工事											
	発生場所	1~4号機 建屋内、屋外						2019/1/9	2019/1/9	2019/1/9			
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL						
	元請会社					担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/1/9		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-23		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	番線			B	01	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ケーブル			B	08	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	不燃シート			B	10	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	シリコンシーラント			B	10	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5	金属ガラ			B	01	D	B	0.1 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	01	—	0130
				2019/1/9
調整後保管日時		2019年1月17日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	番線②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/17 10:35	0.2 m ²			1
	2	1	ケーブル②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/17 10:35	0.1 m ²			1
	3	1	不燃シート②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/17 10:35	0.1 m ²			1
	4	1	シリコンシーラント②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/17 10:35	0.1 m ²			1
	5	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/17 10:35	0.1 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	01 伐採木(幹・根)			02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
	D	伐採木						
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6	スラッジ	B	01	D	B	0.1	m ³	0.005	mSv/h	0.012	mSv/h	無
	7							m ³					
	8							m ³					
	9							m ³					
	10							m ³					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	01	—	0130

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0022

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-2号機 滞留水サンプリングラック電源ケーブル修理工事								
	発生場所	1~4号機 建屋内、屋外					2019/1/9	2019/1/9	2019/1/9	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
線量測定年月日	2019/1/9	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-23	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A 01	D	B	0.5 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類	A 01	W	B	0.1 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
入欄メモ	3	ケミカル袋、バイオランテープ、パウチ、ロープ	A 04	D	B	0.4 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	発泡スチロール、ナイロンひも	A 02	D	B	0.4 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	5	ビニール袋、インシュロック、ビニールテープ	A 02	D	B	0.4 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	01	—	0131
調整後保管日時				2019年1月17日 11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h									
入欄メモ	1	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:30	0.4	m ²			1
	2	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:30	0.1	m ²			1
	3	1	ケミカル袋、バイオランテープ、パウチ、ロープ	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:30	0.05	m ²			1
	4	1	発泡スチロール、ナイロンひも	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:30	0.5	m ²			1
	5	1	ビニール袋、インシュロック、ビニールテープ	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:30	0.4	m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	—	02	—	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	—	02	—	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6	プラスチック	A	02	D	B	0.1	m ²	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	無
	7	ロープ	A	04	D	B	0.1	m ²	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	無
	8	木材(空ドラム)	A	03	D	B	0.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無
	9	難燃シート(白)	C	02	D	B	0.3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無
	10	難燃テープ	C	04	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	01	—	0131

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	プラスチック	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:30	0.1	m ²			1
	7	1	ロープ	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:30	0.05	m ²			1
	8	1	木材(空ドラム)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:30	0.5	m ²			1
	9	1	難燃シート(白)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:30	0.1	m ²			1
	10	1	難燃テープ	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 11:30	0.05	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013405 - 0010		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	12:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F-6MD/G計装品修理工事(第4回)										
	発生場所	5号機 R/B建屋						2019/1/9	2019/1/9	2019/1/9		
	作業主管G	計装設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/12/26		測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-SC-090	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	機器類・制御盤類(圧力計ほか)		B	03	D	A	0.2 m ²	1 μSv/h	1.5 μSv/h	無	
	2	金属ガラ		B	01	D	A	0.2 m ²	1 μSv/h	1.5 μSv/h	無	
	3	可燃物(紙・ウエス類)		A	01	D	A	0.2 m ²	1 μSv/h	1.5 μSv/h	無	
4	可燃物(プラスチック・ポリ・ビニール類)		A	02	D	A	0.2 m ²	1 μSv/h	1.5 μSv/h	無		
5	可燃物その他		A	04	D	A	0.2 m ²	1 μSv/h	1.5 μSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0133
				2019/1/9
調整後保管日時		2019年1月17日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容									
測定日	2019年1月17日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICW	F1-ICW-042						
2		ICW	F1-ICW-179						
3									
4									

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	機器類・制御盤類(圧力計ほか)②	5	μSv/h	5	μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/17 12:00	0.2	m ²			1
2	1	金属ガラ②	5	μSv/h	5	μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/17 12:00	0.5	m ²			1
3	1	可燃物(紙・ウエス類)	2	μSv/h	2	μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 12:30	0.5	m ²			2
4	1	可燃物(プラスチック・ポリ・ビニール類)	2	μSv/h	2	μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 12:30	0.2	m ²			2
5	1	可燃物その他	2	μSv/h	2	μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 12:30	0.2	m ²			2

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —			
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
		注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。											

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③							
	6	難燃物(難燃シート類)	C	02	D	A	0.2 m ²	1 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	無		
	7	難燃物(ホース類)	C	03	D	A	0.2 m ²	1 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	無		
	8	難燃物(その他)	C	04	D	A	0.2 m ²	1 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	無		
	9	不燃物(ケーブル類)	B	08	D	A	0.2 m ²	1 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	無		
	10	不燃物(その他)	B	10	D	A	0.2 m ²	1 μ Sv/h	1.5 μ Sv/h	無		

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	01	—	0133

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	難燃物(難燃シート類)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 12:30	0.05	m ²			2
	9	1	不燃物(ケーブル類)②	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアP1(屋外)	2019/1/17 12:00	0.2	m ²			1
	10	1	不燃物(その他)②	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアP1(屋外)	2019/1/17 12:00	0.5	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月18日	(金)	11:30	承認	審査	作成			
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア			2019/1/9	2019/1/9	2019/1/9			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/1/7	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ			B 01 D B	8 m ³	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
	2					m ³				
	3					m ³				
	4					m ³				
	5					m ³				
大型2台										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0138
				2019/1/9
調整後保管日時		2019年1月18日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/18 10:40	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0002

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	11:30	承認	審査	作成	
	作業件名	5・6T コンプレッサー点検手入工事							
	発生場所	1F 6号機 タービン建屋地下1階					2019/1/9	2019/1/9	2019/1/9
	作業主管G	機械グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/1/8	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-031
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	金属ガラ	B 01	D A	0.2 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	
	2				m ²				
	3				m ²				
	4				m ²				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ・当件名で発生した金属廃棄品については金属ガラとして廃棄処理とする。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0139
				2019/1/9
調整後保管日時		2019年1月17日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/17 11:20	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②				状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月18日		(金)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	3号機T/B屋上部雨水対策工事								
	発生場所	3号機T/B逆流弁ピット周辺(GI-24)					2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10	
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/1/8	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-282	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無 β 有	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	可燃その他・6m3コンテナ・ZK-01730	A	04	D	A	5 m ³	0.1 mSv/h	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	01	—	0140
2019/1/10				
調整後保管日時		2019年1月18日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃その他・6m3コンテナ・ZK-01730	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	エリアW1	2019/1/18 10:50	6 m ³		ZK-01730	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0016																																				
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	12:30		承認	審査	作成																																					
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事																																												
	発生場所	残Con処理場エリア						2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10																																				
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL																																						
	元請会社				担当者			TEL																																						
	線量測定年月日	2019/1/8	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04																																				
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β-α 汚染の有無	β+γ 線量率																																				
	1	コンクリートガラ		B	02	D	A	15 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無																																			
	2							m ³																																						
	3							m ³																																						
4							m ³																																							
5							m ³																																							
10tダンプ(5m3分)×3台分=15m3 コンクリートガラ搬出いたします。																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2019年1月17日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="2">F1-ICWBL-42</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容					測定日	2019年1月17日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICWBL	F1-ICWBL-42		2					3					4				
線量測定内容																																														
測定日	2019年1月17日																																													
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																											
1		ICWBL	F1-ICWBL-42																																											
2																																														
3																																														
4																																														
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																		
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/1/17 11:30	5 m ³			1																																		
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/1/17 12:05	5 m ³			1																																		
	1	3	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/1/17 12:30	5 m ³			1																																		
									m ³																																					
									m ³																																					
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																																													
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																	
		D	伐採木																																											
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月18日	(金)	12:30	承認	審査	作成			
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Con処理場エリア			2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/1/8	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 T-ICWBL-04			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率			
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率			
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	15 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
10tダンプ(5m3分)×3台分=15m3 コンクリートガラ搬出いたします。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0144
				2019/1/10
調整後保管日時		2019年1月18日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/18 11:30	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/18 12:00	5 m ³			1
	1	3	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/18 12:35	5 m ³			1
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月18日		(金)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
	発生場所	タンクヤード					2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/12/19	測定者		測定器名	NaI シンチ		管理番号	リーSC-175	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
1	保温材	B	06	D	A	3 m	0.5 μ Sv/h	0.5 μ Sv/h	無	
2	防災シート	B	06	D	B	1 m	0.5 μ Sv/h	0.5 μ Sv/h	無	
3	コーキング材空容器	B	10	D	B	1 m	0.5 μ Sv/h	0.5 μ Sv/h	無	
4						m				
5						m				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0148
				2019/1/11
調整後保管日時		2019年1月18日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/18 11:50	3 m			1
	2	1	防災シート②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/18 11:50	0.2 m			1
	3	1	コーキング材空容器②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/18 11:50	1 m			1
									m			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0001

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事								
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)					2019/1/11	2019/1/11	2019/1/11	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/12/20	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	木材類	A	03	D	B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	01	—	0151
				2019/1/11
調整後保管日時		2019年1月17日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 8:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事									
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)					2019/1/11	2019/1/11	2019/1/11		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/12/20	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-120		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3	可燃物その他	A	04	D	B	3 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4						m ²					
5						m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0152
				2019/1/11
調整後保管日時		2019年1月17日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 9:20	1 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 9:20	2.4 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 9:20	2.7 m ²			1
									m ²			
									m ²			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年1月18日		(金)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	Nエリア					2019/1/11	2019/1/11	2019/1/11		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/1/10	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-138		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	汚染土砂	B	04	D	A	1024 m ³	0.005 mSv/h	0.04 mSv/h	β 有	0.045 mSv/h
	2						m ³				
	3						m ³				
4						m ³					
5						m ³					
メモ	①No.(C1~C23)23個										
	②Nエリア鋼製角形容器 ③固体廃棄物管理G()調整済										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0159
				2019/1/11
調整後保管日時		2019年1月18日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	Nエリア鋼製角形容器(C1)	5 μ Sv/h	19 μ Sv/h	21 μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5 m ³		C1	1
	1	2	Nエリア鋼製角形容器(C2)	5 μ Sv/h	9 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5 m ³		C2	1
	1	3	Nエリア鋼製角形容器(C3)	5 μ Sv/h	18 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5 m ³		C3	1
	1	4	Nエリア鋼製角形容器(C4)	5 μ Sv/h	90 μ Sv/h	90 μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5 m ³		C4	1
	1	5	Nエリア鋼製角形容器(C5)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5 m ³		C5	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物はNエリア鋼製角形容器23基に分けて収納。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	6					m ³				
	7					m ³				
	8					m ³				
	9					m ³				
	10					m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				
受付番号	廃2019	—	01	— 0159

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	Nエリア鋼製角形容器(C6)	5	μ Sv/h	6	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5	m ³		C6	1
	1	7	Nエリア鋼製角形容器(C7,C18)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	89	m ³		C7,C18	1
	1	8	Nエリア鋼製角形容器(C8)	5	μ Sv/h	8	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5	m ³		C8	1
	1	9	Nエリア鋼製角形容器(C9)	5	μ Sv/h	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5	m ³		C9	1
	1	10	Nエリア鋼製角形容器(C10)	5	μ Sv/h	50	μ Sv/h	50	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5	m ³		C10	1
	1	11	Nエリア鋼製角形容器(C11)	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5	m ³		C11	1
	1	12	Nエリア鋼製角形容器(C12,C20)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	89	m ³		C12,C20	1
	1	13	Nエリア鋼製角形容器(C13)	5	μ Sv/h	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5	m ³		C13	1
	1	14	Nエリア鋼製角形容器(C14)	5	μ Sv/h	18	μ Sv/h	20	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5	m ³		C14	1
	1	15	Nエリア鋼製角形容器(C15)	5	μ Sv/h	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5	m ³		C15	1
	1	16	Nエリア鋼製角形容器(C16,C23)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	89	m ³		C16,C23	1
	1	17	Nエリア鋼製角形容器(C17)	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5	m ³		C17	1
	1	18	Nエリア鋼製角形容器(C19)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5	m ³		C19	1
	1	19	Nエリア鋼製角形容器(C21)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5	m ³		C21	1
	1	20	Nエリア鋼製角形容器(C22)	5	μ Sv/h	9	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 12:00	44.5	m ³		C22	1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不燃物		01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	C 難燃物		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
			01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D 伐採木		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業主管理	保管希望日時	2019年1月18日		(金)	13:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	Nエリア									
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
G	線量測定年月日	2019/1/10	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号			
								F1-ICWBL-138			
記入欄	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	汚染土砂	B	04	D	A	876 m	0.005 mSv/h	0.025 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h
	2						m				
	3						m				
	4						m				
メモ	①No.(C24 ~ C44)21個										
	②Nエリア鋼製角形容器 ③固体廃棄物管理G()調整済										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	01	—	0160
				2019/1/11
調整後保管日時		2019年1月18日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		Nエリア鋼製角形容器(G24)	5 μ Sv/h	8 μ Sv/h	9 μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m		C24	1
1	2		Nエリア鋼製角形容器(G25)	5 μ Sv/h	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m		C25	1
1	3		Nエリア鋼製角形容器(G26)	5 μ Sv/h	12 μ Sv/h	12 μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m		C26	1
1	4		Nエリア鋼製角形容器(G27)	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m		C27	1
1	5		Nエリア鋼製角形容器(G28)	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m		C28	1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ 上記の保管物はNエリア鋼製角形容器21基に分けて収納。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	6		①	②	③	m ³				
	7					m ³				
	8					m ³				
	9					m ³				
	10					m ³				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	01	—	0160

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	Nエリア鋼製角形容器(C29)	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C29	1
	1	7	Nエリア鋼製角形容器(C30)	5	μ Sv/h	8	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C30	1
	1	8	Nエリア鋼製角形容器(C31,C42)	5	μ Sv/h	8	μ Sv/h	8	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	83.4 m ³		C31,C42	1
	1	9	Nエリア鋼製角形容器(C32)	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C32	1
	1	10	Nエリア鋼製角形容器(C33)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C33	1
	1	11	Nエリア鋼製角形容器(C34)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C34	1
	1	12	Nエリア鋼製角形容器(C35)	5	μ Sv/h	6	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C35	1
	1	13	Nエリア鋼製角形容器(C36)	5	μ Sv/h	9	μ Sv/h	9	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C36	1
	1	14	Nエリア鋼製角形容器(C37)	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h	8	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C37	1
	1	15	Nエリア鋼製角形容器(C38)	5	μ Sv/h	11	μ Sv/h	12	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C38	1
	1	16	Nエリア鋼製角形容器(C39)	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C39	1
	1	17	Nエリア鋼製角形容器(C40)	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	11	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C40	1
	1	18	Nエリア鋼製角形容器(C41)	5	μ Sv/h	14	μ Sv/h	14	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C41	1
	1	19	Nエリア鋼製角形容器(C43)	5	μ Sv/h	25	μ Sv/h	25	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C43	1
	1	20	Nエリア鋼製角形容器(C44)	5	μ Sv/h	35	μ Sv/h	35	μ Sv/h	エリアN	2019/1/18 13:00	41.7 m ³		C44	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		状 態		D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業主管理	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	9:00	承認	審査	作成
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
	発生場所	H6タンクエリア				2018/12/25	2018/12/25	2018/12/25
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
線量測定年月日	2018/12/21	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号
	1F-ICWBL-14							
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1 紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h
2 プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
3 可燃物その他	A	04	D	B	1 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
4					m ²			
5					m ²			
巡回回収場所	GP-27							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0012
				2018/12/25
調整後保管日時		2019年1月17日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年1月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 8:15	1.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月18日		(金)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア					2018/12/25	2018/12/25	2018/12/25	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/12/21	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	B	1 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
巡回回収場所:GP-27										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0013
調整後保管日時				2019年1月18日 8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年1月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 8:30	1.8 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 8:30	1.5 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 8:30	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0001

作業主	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	8:00	承認	審査	作成
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(2019年度)						
	発生場所	A-K系排水路(GH-26北西)						
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
管	線量測定年月日	2018/12/4	測定者		測定器名	ICW		管理番号
						FI-ICW-120		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	可燃物その他(草・落葉)	A 04	W A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	無
	2				m ²			
	3				m ²			
	4				m ²			
入	5				m ²			
メ モ	巡回回収場所: GH-26北西							
	回収。ロールコンテナ車希望。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0015
				2018/12/25
調整後保管日時		2019年1月17日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年1月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他(草・落葉)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 8:30	8.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0001

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月18日		(金)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(2019年度)								
	発生場所	A・K系排水路(GH-26北西)					2018/12/25	2018/12/25	2018/12/25	
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/12/4	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
1	可燃物その他(草・落葉)		A	04	W	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	無
2							m ²			
3							m ²			
4							m ²			
5							m ²			
回収場所: GH-26北西 回収: ロールコンテナ車希望。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0016
調整後保管日時				2019年1月18日
				8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。				
運搬車を配備致しますので				
保管物の積み込みをお願いします。				
巡				

線量測定内容				
測定日	2019年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他(草・落葉)	2 μSv/h	8 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 8:45	7.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	8:30	承認	審査	作成
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
	発生場所	G4南エリア GJ32(東南)				2018/12/27	2018/12/26	2018/12/26
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/12/24	測定者			測定器名	βγ用電離箱	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
		①	②	③				β+γ 線量率
	1	紙・ウエス類	A 01	W B	1.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニル類	A 02	W B	1.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	3	木材	A 03	W B	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	4	可燃物その他	A 04	W B	1.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	5				m ²			
メ モ	巡回回収場所: GJ-32東南							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0027
				2018/12/27
調整後保管日時		2019年1月16日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2019/1/16 8:30	0.6 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニル類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2019/1/16 8:30	1 m ²			1
	4	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2019/1/16 8:30	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニル類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0007

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月18日		(金)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F 共用プール南側ヤード整備工事								
	発生場所	1～4号機周辺(GL-26 北)					2018/12/27	2018/12/25	2018/12/25	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/12/7	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-255	
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物その他(土壌類)	A	04	D	B	5 m ²	50 μSv/h	50 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
メ モ	5						m ²			
	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0046
				2018/12/27
調整後保管日時		2019年1月18日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他(土壌類)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 8:00	2.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月15日	(火)	13:00	承認	審査	作成				
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟									
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員	TEL							
	元請会社		担当者	TEL							
線量測定年月日	2019/1/15	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	158,14				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	フランジタンク片側板(180067)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	15 mSv/h
	2						m ²				
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					
メ モ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒Pエリアへ保管。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0052
				2019/1/16
調整後保管日時		2019年1月15日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180067)	3 μSv/h	8 μSv/h	8 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2019/1/15 14:00	21 m ²		180067	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業主	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟					2019/1/21	2019/1/21	2019/1/21	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
管	線量測定年月日	2019/1/16	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH		管理番号	158,14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	フランジタンク片天板(180052)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ²			
入	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0053
				2019/1/22
調整後保管日時		2019年1月16日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片天板(180052)	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	エリアAA	2019/1/16 11:50	21 m ²		180052	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	13:00	承認	審査	作成			
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟					2019/1/21	2019/1/21	2019/1/21		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2019/1/17	測定者			測定器名	F1-ICW,ICWBH		管理番号	158,14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	フランジタンク片側板(180297)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	25 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒Pエリアへ保管										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0054
				2019/1/22
調整後保管日時		2019年1月17日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180297)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2019/1/17 11:05	21 m ²		180297	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月18日		(金)	13:00		承認	審査	作成					
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)												
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟						2019/1/21	2019/1/21	2019/1/21				
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
	線量測定年月日	2019/1/18	測定者			測定器名	F1-ICW,ICWBH		管理番号	158,14				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率			
		①	②	③										
	1	フランジタンク片側板(180032)	B	11	D	A	21	m ²	0.001	mSv/h	0.001	mSv/h	無	
	2							m ²						
3							m ²							
4							m ²							
5							m ²							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0055
				2019/1/22
調整後保管日時		2019年1月18日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180032)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/1/18 11:20	21 m ²		180032	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0033

作業主管理	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	11:00	承認	審査	作成
	作業件名	1F-1~4号機 タンクエリア水回収設備他点検修理工事						
	発生場所	H4タンクエリア (GN-25東)				2019/1/8	2019/1/8	2019/1/8
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員			TEL	
	元請会社			担当者			TEL	
G記入欄	線量測定年月日	2019/1/7	測定者			測定器名	β・γ用電離箱	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
		①	②	③				β+γ 線量率
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	ポリビニール類	A 02	D B	0.7 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
メ モ	3	可燃物その他	A 04	D B	0.1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	4	ホース類	C 03	D B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	5	難燃物その他	C 04	D B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	巡回回収場所:GN-25東 【回収】難燃物その他内訳:シーラント付着(プラ・ウエス・紙類)0.4m ³							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0060
調整後保管日時				2019年1月17日 11:00
【保管時の指示事項等】 ●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2		ICWBL	F1-ICWBL-127	
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 10:30	0.4 m ²				1
2	1	ポリビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 10:30	0.5 m ²				1
3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 10:30	0.2 m ²				1
5	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 10:30	0.5 m ²				2
6	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 10:30	0.1 m ²				1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票 (別紙)

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③									
	6	ゴム類	C	01	D	B	0.1	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
	7							m ²						
	8							m ²						
	9							m ²						
	10							m ²						

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2019	—	01	—	0060

保管 実績 記録 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月18日		(金)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4エリア (GN-25北)				2019/1/9	2019/1/9	2019/1/9			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/1/8	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02	D B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
2	可燃物			A 04	D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
3	紙・ダンボール			A 01	D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
4	ゴム類			G 01	D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
5						m ²					
巡回回収場所:GN-25北 瓦礫に関する連絡は、	までお願いします。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0065
調整後保管日時				2019年1月18日
				9:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 9:20	1.7 m ²			1
2	1		可燃物	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 9:20	1.6 m ²			1
3	1		紙・ダンボール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 9:20	1.2 m ²			1
4	1		ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 9:20	0.2 m ²			1
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0008

作業主管理	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	焼却設備炉関係定期点検工事【定例】								
	発生場所	雑個体焼却設備建屋					2019/1/9	2019/1/9	2019/1/9	
	作業主管G	廃棄物設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
線量測定	線量測定年月日	2019/1/8	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-031
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	0.2 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	0.2 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
入 欄	3	木材類	A 03	D B	0.1 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
	4	可燃物その他	A 04	D B	0.1 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
	5	ゴム類	C 01	D B	0.1 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
メモ	巡回回収場所: GL-12南									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0084
				2019/1/9
調整後保管日時		2019年1月16日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 10:50	0.02 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 10:50	0.1 m ²			1
	3	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 10:50	0.05 m ²			1
	4	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 10:50	0.1 m ²			1
	5	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 10:50	0.01 m ²			1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③										
	6	難燃シート類	C	02	D	B	0.2	m ²	0.001	mSv/h	0.001	mSv/h	無		
	7						m ²								
	8						m ²								
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2019	—	01	—	0084

保管 実績 記入 欄	No.		保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1		2	μ Sv/h	2	μ Sv/h									
			難燃シート類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアJ	2019/1/16 10:50	0.1	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月15日	(火)	9:30	承認	審査	作成								
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務													
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10								
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL										
	元請会社			担当者	TEL										
	線量測定年月日	2019/1/9	測定者		測定器名	リ-SC	管理番号								
							179								
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率						
		①	②	③											
		1 紙	A	01						D	A	5 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	無
		2										m ³			
		3										m ³			
		4										m ³			
5					m ³										
巡回回収場所: GM-19 北東															

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0085
調整後保管日時				2019年1月15日 9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2019/1/16 8:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月15日	(火)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/1/9	測定者		測定器名	リ-SC	管理番号			
							179			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	紙	A	01	D	A	4 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
2	紙	A	01	D	A	1 m ²	5 μSv/h	15 μSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
巡回回収場所: GM-19 北東										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0086
				2019/1/10
調整後保管日時		2019年1月15日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年1月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2019/1/16 8:00	4 m ²			1
	2	1	紙	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2019/1/16 8:00	0.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10	
	作業主管G	総務グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/1/9	測定者			測定器名	リ-SC	管理番号	179	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	ビニール	A	02	D	A	5 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メ モ	巡回回収場所: GM-19 北東									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0087
				2019/1/10
調整後保管日時		2019年1月16日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 9:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001										
作業主管理	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	10:30		承認	審査	作成											
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務																		
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10										
	作業主管G	総務グループ				監理員			TEL											
	元請会社					担当者			TEL											
線量測定	線量測定年月日	2019/1/9		測定者			測定器名	リ-SC		管理番号	179									
	No.	保管物名			※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β - α 汚染の有無	β + γ 線量率								
		①	②	③																
		1	ビニール	A	02	D	A						4	m ²	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	無	
		2	プラスチック	A	02	D	A						1	m ²	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	無	
3							m ²													
4							m ²													
5							m ²													
巡回回収場所	GM-19 北東																			

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2019	—	01	—	0088	2019/1/10
調整後保管日時		2019年1月16日		10:30	
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。					

線量測定内容					
測定日	2019年1月16日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICW	F1-ICW-179		
2					
3					
4					

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
2	1	プラスチック	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 9:30	1 m ²				1
								m ²				
								m ²				
								m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主 管 入 欄	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)				2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10			
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/1/9	測定者		測定器名	リ-SC	管理番号	179			
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③						
	1	ダンボール	A	01	D	A	5 m ²	5 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
メモ	巡回回収場所:GM-19 北東										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0089
				2019/1/10
調整後保管日時		2019年1月17日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績 記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 9:30	5.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10		
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/1/9	測定者		測定器名	リ-SC	管理番号	179			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	ダンボール	A	01	D	A	5 m ²	5 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
巡回回収場所: GM-19 北東											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0090
				2019/1/10
調整後保管日時		2019年1月17日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 9:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0046

作業主 管 入 欄	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	移送配管・弁点検関連								
	発生場所	H6タンクエリア					2019/1/10	2019/1/10	2019/1/7	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
G	線量測定年月日	2018/12/12	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-7	
記 入 欄	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	ダンボール	A 01	D B	1 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
	2	ビニール	A 02	D B	3 m ²	0.001 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
	3	発泡スチロール	A 02	D B	1 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
4					m ²					
5					m ²					
メモ	巡回回収場所:GO-27									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0091
				2019/1/10
調整後保管日時		2019年1月16日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績 記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 10:45	1.3 m ²			1
	2	1	ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 10:45	1.4 m ²			1
	3	1	発泡スチロール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 10:45	0.3 m ²			1
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0046

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月18日		(金)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	移送配管・弁点検関連								
	発生場所	H6タンクエリア						2019/1/10	2019/1/10	2019/1/7
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/12/12	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-7
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	プラスチック	A	02	D	B	1 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
巡回回収場所:GO-27										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0092
調整後保管日時				2019年1月18日 11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 10:20	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013606 - 0004		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1~4号機 多核種除去設備運転・保守管理業務委託										
	発生場所	増設多核種除去設備(GO-20 南西側)						2019/1/9	2019/1/9	2019/1/8		
	作業主管G	水処理計画グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/1/7	測定者			測定器名	ICW, ICWBL		管理番号	349・4		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	3						m ²					
4						m ²						
5						m ²						
メモ	巡回回収場所:GO-20 南西側											

線量測定内容											
測定日	2019年1月16日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-179								
2											
3											
4											

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 9:50	3.5 m ²				1
								m ²				
								m ²				
								m ²				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木										
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013606 - 0004

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1~4号機 多核種除去設備運転・保守管理業務委託								
	発生場所	多核種除去設備 (GR-20 南東側)					2019/1/9	2019/1/9	2019/1/9	
	作業主管G	水処理計画グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
線量測定年月日	2019/1/10	測定者			測定器名	ICW, ICWBL		管理番号	349・4	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	可燃物その他	A 04	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
入	3	難燃シート類	C 02	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	紙・ウエス類	A 01	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	5					m ²				
メ	巡回回収場所: GR-20 南東側									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0095
				2019/1/10
調整後保管日時		2019年1月16日		11:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年1月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
メ	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアJ	2019/1/16 10:40	1 m ²			1
	2	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアJ	2019/1/16 10:40	0.3 m ²			1
	3	1	難燃シート類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアJ	2019/1/16 10:40	0.5 m ²			1
	4	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアJ	2019/1/16 10:40	0.5 m ²			1
モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載														

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013606 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1~4号機 多核種除去設備運転・保守管理業務委託							
	発生場所	増設多核種除去設備(GO-20 南西側)					2019/1/9	2019/1/9	2019/1/8
	作業主管G	水処理計画グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/1/7	測定者			測定器名	ICW、ICWBL		
						管理番号	349・4		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	可燃物その他	A 04	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	難燃シート類	C 02	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4				m ²				
	5				m ²				
	巡回回収場所:GO-20 南西側								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0096
				2019/1/10
調整後保管日時		2019年1月17日		11:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 10:10	2.5 m ²			1
	2	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 10:10	0.5 m ²			1
	3	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 10:10	0.6 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013606 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月18日		(金)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1~4号機 多核種除去設備運転・保守管理業務委託									
	発生場所	多核種除去設備(GR-20 南東側)					2019/1/9	2019/1/9	2019/1/9		
	作業主管G	水処理計画グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/1/10	測定者			測定器名	ICW、ICWBL	管理番号	349-4		
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2	ゴム類	C 01	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	3	紙・ウエス類	A 01	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	4					m ²					
5					m ²						
メ モ	巡回回収場所: GR-20 南東側										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0097
調整後保管日時				2019年1月18日 11:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類(→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 10:15	2 m ²			1
	2	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/18 10:15	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0001

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月17日		(木)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1,4号機 SFP循環冷却設備二次系不凍液廃棄処理委託										
	発生場所	5・6号機北西側 資材置場 不凍液固化処理ハウス						2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10		
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/15	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-141		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不凍液固化処理物			A	D4	W	A	1.4 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0100
				2019/1/10
調整後保管日時		2019年1月17日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 保管物の積み込み確認をお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績 記入欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不凍液固化処理物	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/17 8:45	1.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015302 - 0001																																				
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	9:00		承認	審査	作成																																					
	作業件名	1F-14号機 SFP循環冷却設備二次系不凍液廃棄処理委託																																												
	発生場所	5・6号機北西側 資材置場 不凍液固化処理ハウス						2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10																																				
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員	TEL																																							
	元請会社					担当者	TEL																																							
	線量測定年月日	2018/11/15	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-141																																				
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																				
	1	不凍液固化処理物			A 04 W A	1.4 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無																																					
	2					m ³																																								
	3					m ³																																								
4					m ³																																									
5					m ³																																									
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2019年1月16日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="2">F1-ICW-179</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容					測定日	2019年1月16日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICW	F1-ICW-179		2					3					4				
線量測定内容																																														
測定日	2019年1月16日																																													
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																											
1		ICW	F1-ICW-179																																											
2																																														
3																																														
4																																														
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																		
	1	1	不凍液固化処理物	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 9:20	1.8 m ³			1																																		
									m ³																																					
									m ³																																					
									m ³																																					
									m ³																																					
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																													
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0008

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月16日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	3, 4号機T/B防水性向上対策工事								
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋(GI-26)					2019/1/11	2019/1/11	2019/1/11	
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
線量測定年月日	2019/1/10	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-55	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃その他	A	01	D	B	1 m ³	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無
	2	可燃その他	A	02	D	B	2 m ³	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無
入 欄	3	可燃その他	A	04	D	B	2 m ³	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無
	4						m ³			
	5						m ³			
メモ	巡回回収場所: GI-25									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2019	—	01	—	0102
				2019/1/11
調整後保管日時		2019年1月16日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年1月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
入 欄	1	1	可燃その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 10:10	0.1 m ³			1
	2	1	可燃その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 10:10	1 m ³			1
	3	1	可燃その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2019/1/16 10:10	1.1 m ³			1
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。